

## コントロールソフト (DEF) から、プログラム保守ツール「Hmake.exe/make.exe」を使用する場合の設定方法

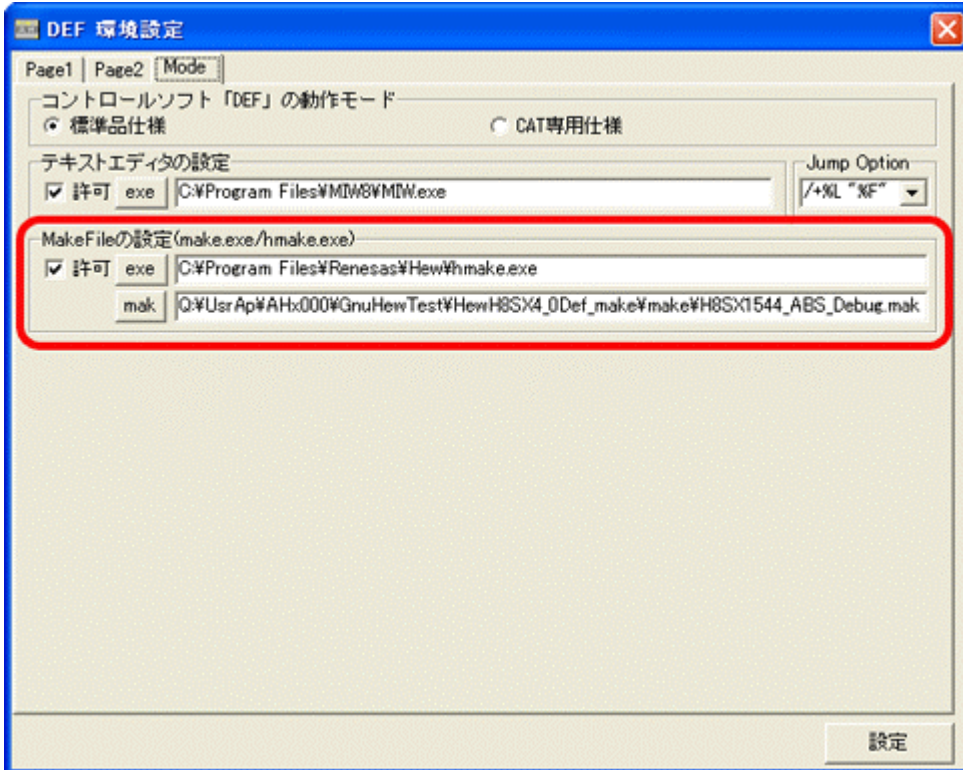
Rev1.00 2010/02/24  
DEF Ver8.00Bより対応

### 【概要】

H-debger用コントロールソフト (DEF) のView画面から、プログラム保守ツール「make」を起動することが出来るようになりました。設定方法を説明します。

### 【手順】

1. <オプション>-<環境設定>をクリックします。  
<1-1-1>



「Mode」タグをクリックします。

MakeFileの設定

【許可】

チェックボックスに「レ」チェックします。

【exe】

このボタンをクリックし、保守ツール「make」の実行ファイルを指定します。

例)

ルネサスC --- "C:\Program Files\Renesas\Hew\hmake.exe"  
GNU/gcc (coff) --- 【空白にしてください】

【mak】

使用する MakeFile を指定します。

<ルネサスC>

統合環境Hewによって作成したファイル指定します。

作成方法は、弊社HPの<ルネサスC>-<RC\_make.pdf>をご覧ください。

[http://www.aone.co.jp/tools/verupAH/RC\\_make.pdf](http://www.aone.co.jp/tools/verupAH/RC_make.pdf)

<GNU/gcc (coff) >

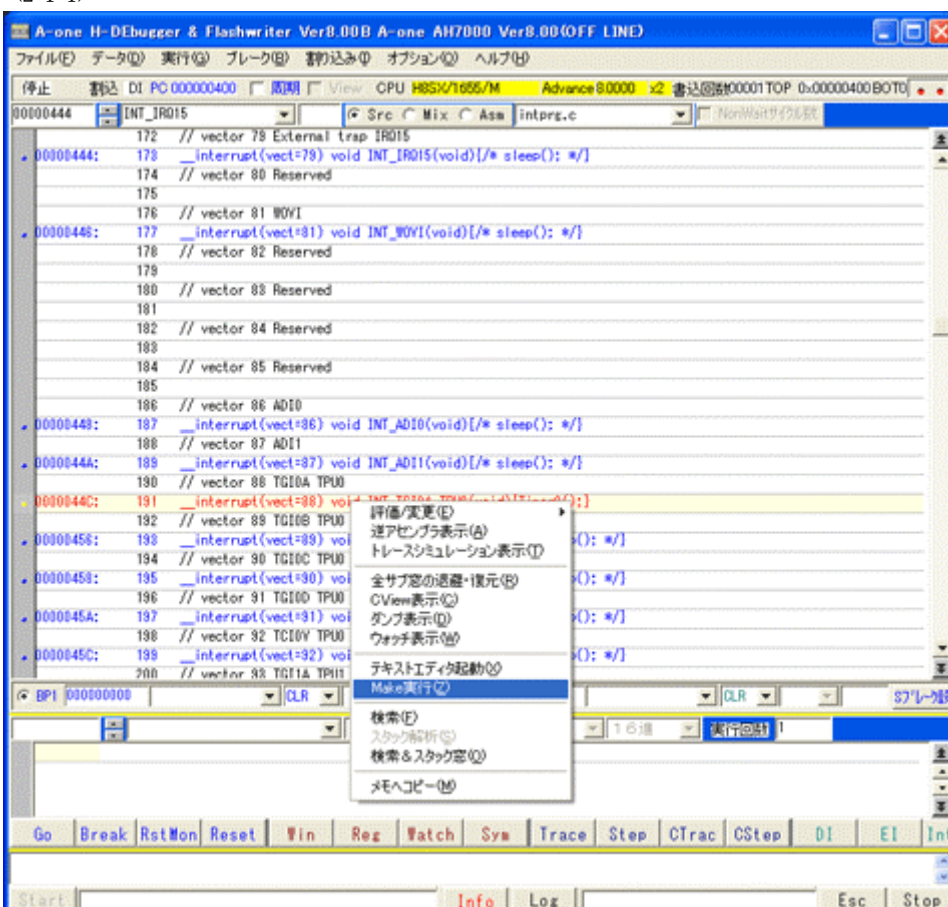
GNUの場合は、make を起動させるバッチファイルを指定して下さい。  
バッチファイル名「make.bat」は、禁止です。

```
<cc.bat>
make
```

「設定」をクリックします。

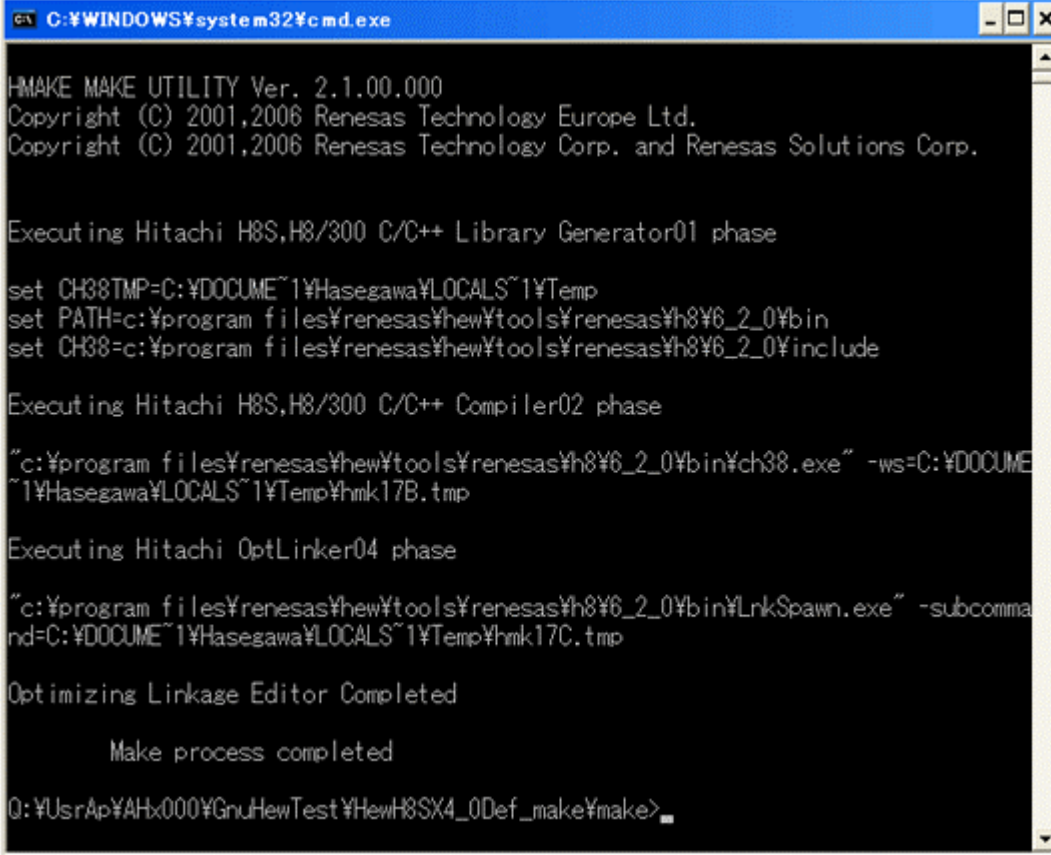
### 【使用例】

<2-1-1>



View画面で右クリックのポップアップメニューから「Make実行(Z)」をクリックします。

<2-1-2>



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
HMAKE MAKE UTILITY Ver. 2.1.00.000
Copyright (C) 2001,2006 Renesas Technology Europe Ltd.
Copyright (C) 2001,2006 Renesas Technology Corp. and Renesas Solutions Corp.

Executing Hitachi H8S,H8/300 C/C++ Library Generator01 phase

set CH38TMP=C:\DOCUMENTS\1\Hasegawa\LOCALS~1\Temp
set PATH=c:\program files\renesas\hew\tools\renesas\h8\6_2_0\bin
set CH38=c:\program files\renesas\hew\tools\renesas\h8\6_2_0\include

Executing Hitachi H8S,H8/300 C/C++ Compiler02 phase

"c:\program files\renesas\hew\tools\renesas\h8\6_2_0\bin\ch38.exe" -ws=C:\DOCUMENTS\1\Hasegawa\LOCALS~1\Temp\hmk17B.tmp

Executing Hitachi OptLinker04 phase

"c:\program files\renesas\hew\tools\renesas\h8\6_2_0\bin\LnkSpawn.exe" -subcommand=C:\DOCUMENTS\1\Hasegawa\LOCALS~1\Temp\hmk17C.tmp

Optimizing Linkage Editor Completed

Make process completed

O:\Usr\Ap\AHx000\GnuHewTest\HewH8SX4_0Def_make\make>
```

【Hmake実行画面】

以上で、コントロールソフト（DEF）から、プログラム保守ツール「Hmake.exe/make.exe」を使用する場合の設定方法の説明を終わります。